

平成20年2月期 中間決算説明会

平成19年10月9日

株式会社サンワドー

<http://www.sanwado.com>

平成20年2月期中間 会社概要 目次

目次

◆ 業績の概要	P3
◆ 損益計算書(連結)	P4
◆ 損益計算書四半期推移(連結)	P5
◆ 要約貸借対照表(連結)	P6
◆ 損益計算書(連結)	P7
◆ キャッシュ・フローの状況(連結)	P8
◆ 部門別売上高(連結)	P9
◆ 部門別別売上高構成表(連結)	P10
◆ 収益構造の推移(連結)	P11
◆ 販管費の状況(連結)	P12
◆ 平成20年2月期の展望	P13
◆ 平成20年2月期 業績の予想	P14

会社概要

社名	株式会社 サンワドー
代表者	代表取締役社長 中村 勝弘
設立	1988年6月1日
資本金	7億402万円
店舗数	26店舗
従業員	939名
事業内容	ホームセンター

子会社

社名	株式会社ワールドジャンボ
所在地	青森県
資本金	10百万円
事業内容	カー用品販売
持株比率	100%

社名	三和部品株式会社
所在地	青森県
資本金	10百万円
事業内容	カー用品卸売業
持株比率	100%

(平成19年8月20日現在)

平成20年2月期中間 業績の概要

売上 (計画15,800百万円に対し、実績15,048百万円→未達▲751百万円、達成率95.2%)

新店の未達 (新店) 弘前樋の口店 計画 600百万円 実績 469百万円 (達成率78.3%)

既存店の不振

- ① 春先の天候不順
- ② 競合店舗の進出
- ③ 中国産食品報道による業務スーパーの低迷

売上総利益 (計画3,634百万円に対し、実績3,434百万円→未達▲200百万円、達成率94.5%)

粗利率 売価変更の圧縮、EOS比率の向上により、前年同期比1.0%の改善を図ることができた。

売上総利益 売上の不振により、売上総利益は計画比200百万円の未達となった。

経常利益 (計画280百万円に対し、実績162百万円→未達▲117百万円、達成率58.0%)

経費 既存店舗でのコスト削減は一定の成果を上げたが、新店・増床に伴う人件費並びに設備関連コスト(不動産賃借料・減価償却費等)が増加したため、販管費全体としては3.9ポイント上昇した。

営業利益 その結果、営業利益は前期比▲12.2ポイント減の193百万円に止まった。

当期純損失 役員退職慰労金繰入(60百万円)、減損損失(79百万円)の計上により、純損失▲43百万円となった。

平成20年2月期中間 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当中間期 (20年2月期中間)		前中間期 (19年2月期中間)		前中間期比	備 考
売上高	15,048	—	15,281	—	98.5%	既存店 ▲4.4%
売上総利益	3,434	22.8%	3,338	21.8%	102.9%	
販管費	3,240	21.5%	3,117	20.4%	103.9%	既存店 ▲2.1%
営業利益	193	1.3%	220	1.4%	87.8%	
経常利益	162	1.1%	202	1.3%	80.1%	ROA 0.8%
当期純利益	▲43	—	105	0.7%	—	ROE —%

(注1) ROA = 経常利益 ÷ 総資産

(注2) ROE = 当期純利益 ÷ 純資産

損益計算書四半期推移(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 (19/3-19/5)					第2四半期 (19/6-19/8)					20年2月期中間				
	当期		前期		前期比	当期		前期		前期比	当期		前期		前期比
売上高	7,205	—	7,227	—	99.7%	7,842	—	8,053	—	97.4%	15,048	—	15,281	—	98.5%
売上総利益	1,665	23.1%	1,649	22.8%	101.0%	1,768	22.6%	1,688	21.0%	104.8%	3,434	22.8%	3,338	21.8%	102.9%
販管費	1,639	22.7%	1,571	21.7%	104.3%	1,601	20.4%	1,546	19.2%	103.6%	3,240	21.5%	3,117	20.4%	103.9%
営業利益	26	0.4%	78	1.1%	33.6%	167	2.1%	142	1.8%	117.6%	193	1.3%	220	1.4%	87.8%
経常利益	8	0.1%	77	1.1%	11.3%	153	2.0%	124	1.5%	123.1%	162	1.1%	202	1.3%	80.1%
当期純利益	2	0.0%	33	0.5%	7.0%	▲45	—	72	0.9%	—	▲43	—	105	0.7%	—

平成20年2月期中間 要約貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産の部				負債／純資産の部			
	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期比		当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期比
流動資産	6,455	6,412	100.7%	流動負債	8,617	10,606	81.2%
棚卸資産	5,139	4,909	104.7%	短期借入金	1,770	2,550	69.4%
				一年以内返済予定 長期借入金	953	2,682	35.5%
固定資産	13,019	12,818	101.6%	一年以内償還予定社債	1,360	700	194.3%
有形固定資産	8,375	8,166	102.6%	固定負債	6,415	4,103	156.3%
無形固定資産	21	23	92.2%	社債	3,020	2,680	112.7%
投資その他の資産	4,621	4,628	99.9%	長期借入金	3,156	1,240	254.5%
				負債合計	15,032	14,710	102.2%
				純資産合計	4,442	4,520	98.3%
資産合計	19,475	19,231	101.3%	負債及び純資産合計	19,475	19,231	101.3%

平成20年2月期中間 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	(株)サンワドー			(株)ワールドジャンボ			三和部品(株)			修正		合計		
	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期比	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期比	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期比	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	当中間期 (20年2月期)	当中間期 (19年2月期)	前中間期比
売上高	14,154	14,310	98.9%	724	775	93.4%	215	234	91.8%	▲46	▲39	15,048	15,281	98.5%
売上総利益	3,168	3,054	103.7%	228	243	94.1%	36	40	90.2%	0	0	3,434	3,338	102.9%
販管費	2,996	2,866	104.5%	231	237	97.5%	37	37	99.5%	▲24	▲23	3,240	3,117	103.9%
営業利益	172	188	91.6%	▲2	5	—	▲0	3	—	24	23	193	220	87.8%
経常利益	164	193	84.7%	▲1	7	—	0	3	15.3%	▲1	▲1	162	202	80.1%
当期純利益	▲43	99	—	1	5	30.4%	▲0	2	—	▲1	▲1	▲43	105	—

キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)

	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前中間期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	293	281	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲421	▲192	▲229
財務活動によるキャッシュ・フロー	155	▲92	248
現金及び現金同等物の増減額	28	▲3	31
現金及び現金同等物期首残高	709	856	▲147
現金及び現金同等物期末残高	738	853	▲115

平成20年2月期中間 部門別売上高(連結)

(単位:百万円)

区 分	18年2月期中間			19年2月期中間			20年2月期中間		
	売上高	売上高構成比	粗利率	売上高	売上高構成比	粗利率	売上高	売上高構成比	粗利率
リビング	4,021	26.8%	20.4%	3,982	26.1%	21.7%	3,914	26.0%	22.2%
ペット&グリーン	2,197	14.7%	24.1%	2,269	14.8%	25.1%	2,453	16.3%	26.3%
食品	2,204	14.7%	14.0%	2,353	15.4%	15.3%	2,370	15.8%	15.6%
カー・レジャー	2,285	15.2%	28.2%	2,438	15.9%	28.8%	2,246	14.9%	30.9%
DIY	1,130	7.5%	26.7%	1,206	7.9%	26.1%	1,315	8.7%	27.9%
家電	1,290	8.6%	15.9%	1,238	8.1%	15.8%	1,120	7.5%	17.3%
ブランド	1,233	8.2%	22.0%	1,171	7.7%	21.0%	1,025	6.8%	20.9%
その他	647	4.3%	13.4%	621	4.1%	13.5%	601	4.0%	14.0%
合計	15,010	100.0%	21.1%	15,281	100.0%	21.8%	15,048	100.0%	22.8%

◆ 各部門別の構成は、次のとおりであります。

(1) リビング

(日用雑貨、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、ファミコン、100円ショップ、たばこ)

(2) ペット&グリーン

(園芸用品、ペット用品)

(3) カー・レジャー

(カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー・自転車)

(4) 食品

(食品、業務スーパー、酒)

(5) DIY

(大工・エクステリア用品、リフォーム)

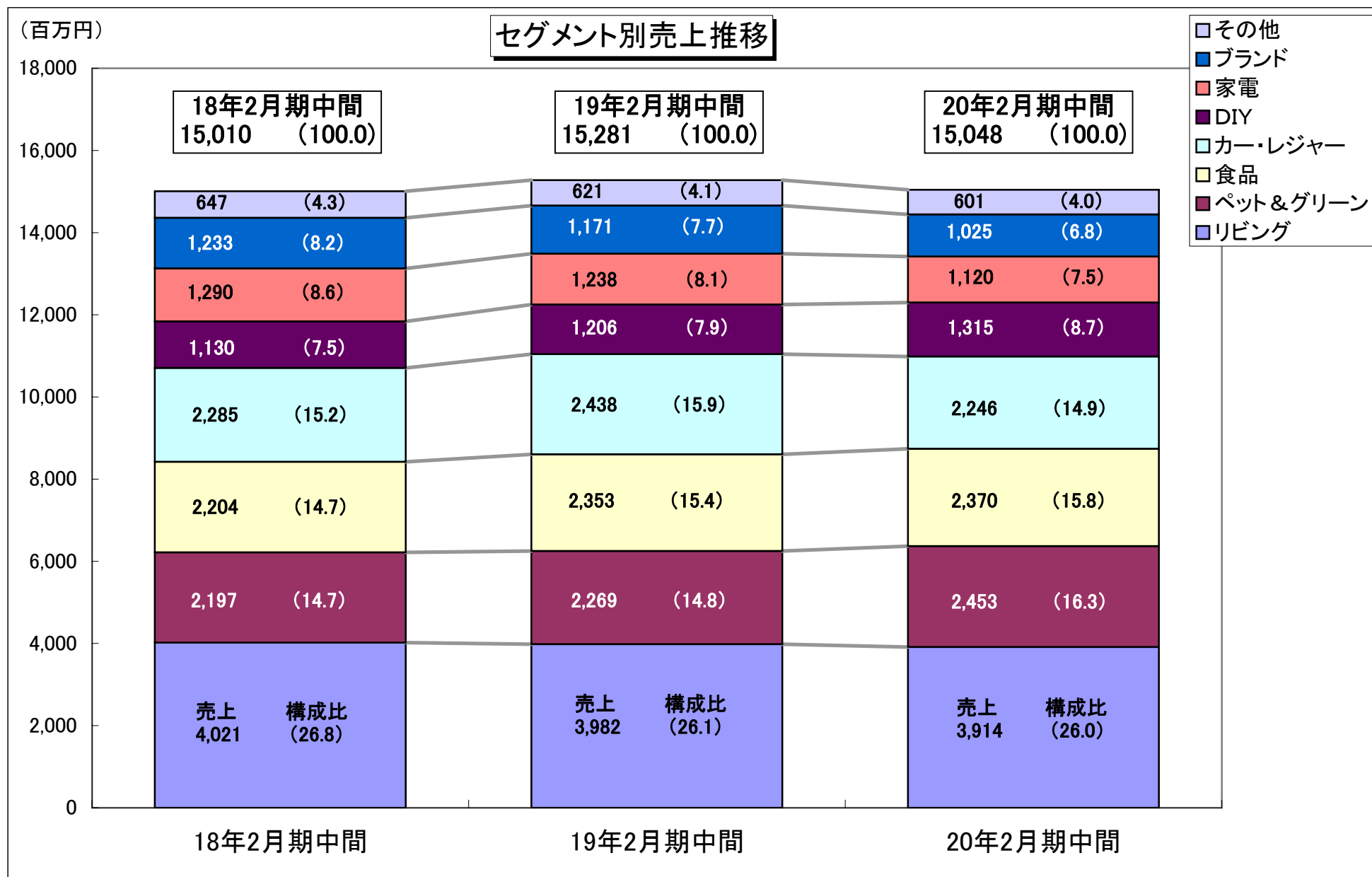
(6) 家電

(7) ブランド

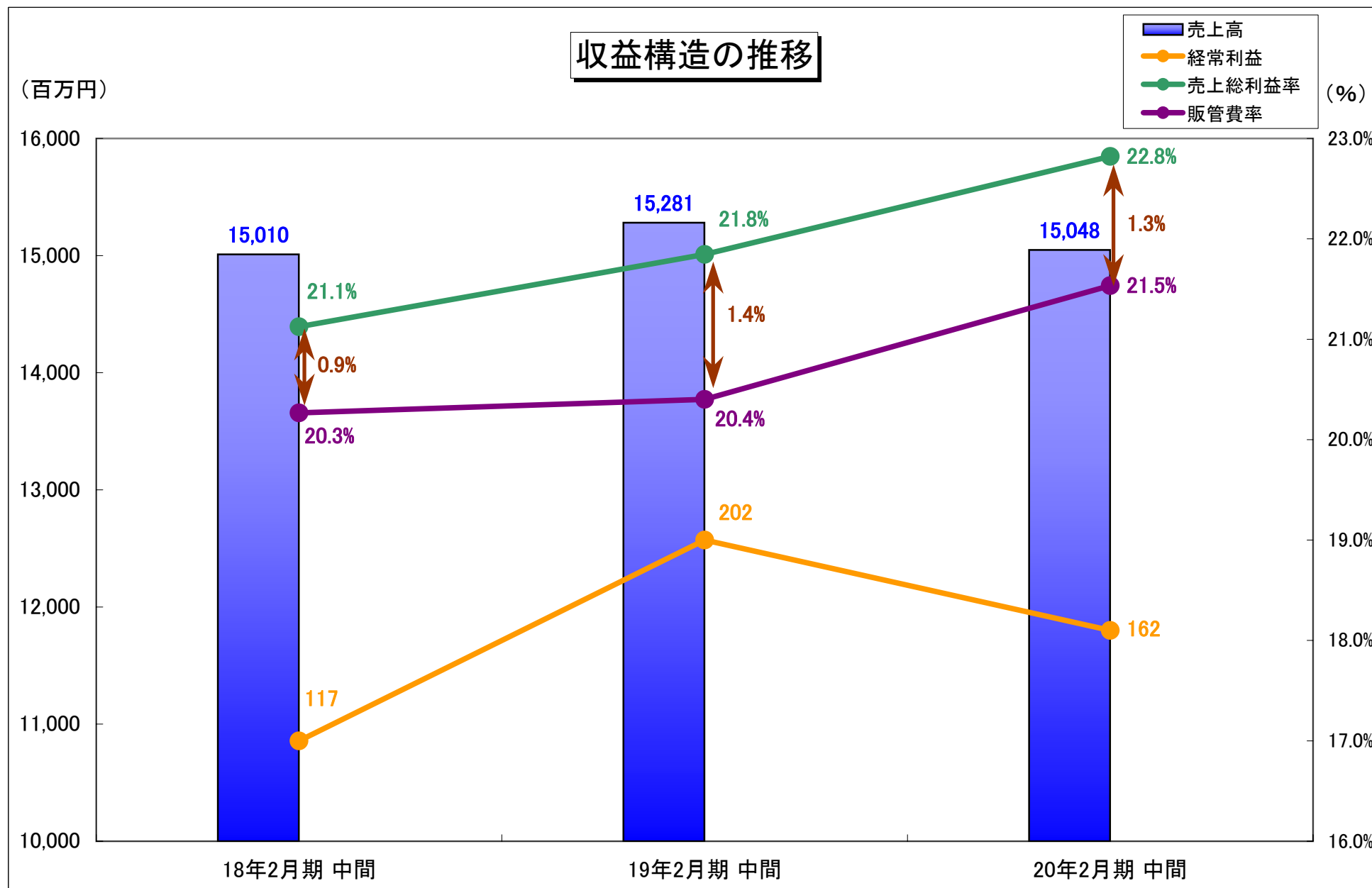
(8) その他

(テナント、卸売)

平成20年2月期中間 部門別売上高構成表(連結)



平成20年2月期中間 収益構造の推移(連結)



平成20年2月期中間 販管費の状況(連結)

(単位:百万円)

	当中間期 (20年2月期)	前中間期 (19年2月期)	前期比	備 考	
人件費	1,564	1,508	103.7%	既存店 ▲1.4%	新店79百万
広告宣伝費	282	277	102.0%	既存店 ▲5.2%	新店18百万
水道光熱費	209	212	99.0%	既存店 ▲4.0%	新店9百万
不動産賃借料	513	490	104.6%	既存店 0.1%	新店23百万
減価償却費	118	106	110.6%	既存店 ▲5.7%	新店18百万

平成20年2月期の展望

1. 売上の確保

下期(平成19年9月～平成20年2月)は、既存店舗の売上浮上に決め手を欠く中、有力な競合店の出店が相次ぎ、前年同期比▲5%程度の減少は避けられないと予測しています。

これを最小限に食い止めるため、店舗戦略を再編成し、店の特性を生かした商品管理を展開します。

- ① 大型店舗 = ザ・サンワ柏店をモデルとしたプロ需要対応型店舗とし、HCハード商材の強化
- ② バリエティー型店舗 = 専門店との連携を生かしながら、生活必需品を提供
- ③ 業務スーパー型店舗 = コンビニエンス型HCとし、お買物の利便性向上

2. 利益の確保

下期も引続き、粗利率の改善に取組み、前年同期比0.7ポイントアップの23.0%まで押し上げます。販管費に関しても変動費の圧縮を図り、通期では20百万円の当期利益を予定しています。

3. 中計の見直し

第37期(平成21年2月期)は、現中計の最終年度になりますが、現下の地域経済状況から新店計画は見送り、既存店舗を強化しながら収益力を高めることとします。

この結果、最終年度の計画は次のようになります。

中計最終年度(21年2月期)計画

(単位:百万円)

	見直し後	当初計画
売上	28,500	33,300
経常利益	250	700

平成20年2月期 業績の予想

(単位:百万円)

	連 結				単 体			
	19年2月期		20年2月期 予想		19年2月期		20年2月期 予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	30,967	100.1%	30,000	96.9%	28,916	99.6%	28,000	96.8%
売 上 総 利 益	6,919	104.3%	6,910	99.9%	6,315	103.6%	6,330	100.2%
販 管 費	6,552	102.9%	6,600	100.7%	6,041	102.2%	6,080	100.6%
営 業 利 益	366	136.0%	310	84.5%	273	148.5%	250	91.3%
経 常 利 益	338	135.8%	290	85.6%	292	138.6%	250	85.6%
経 常 利 益 率	1.1%	—	1.0%	—	1.0%	—	0.9%	—
当 期 純 利 益	187	145.5%	20	10.6%	160	149.0%	10	6.2%

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
 実際の業績は今後の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。